

第40回全日本私立幼稚園連合会

設置者・園長全国研修大会

開催要項

- **テーマ** こどもがまんなかの幼児教育の充実・発展を考え合う
～社会状況の変化を乗り越える園を目指して～
- **期 日** 令和7年10月27日(月)・28日(火)
- **会 場** 茨城県水戸市・水戸市民会館
(**全体会**) 〒310-0026 水戸市泉町1-7-1 ☎029-303-6226
(**分科会**) ※JR水戸駅(北口)から徒歩20分/
路線バス:北口(4~7番のりば)から約5分「泉町一丁目」下車、徒歩1分
- **懇親会** 茨城県水戸市・水戸京成ホテル
〒310-0011 水戸市三の丸1-4-73 ☎029-226-3111
※JR水戸駅(北口)から徒歩3分
※本年度は大会会場と懇親会会場が異なっておりますのでご留意下さい。
※水戸駅-大会会場-懇親会会場をつなぐシャトルバスを手配する予定です。詳細は追ってご連絡いたします。
- **形 式** 対面形式(オンライン配信はございませんのでご留意下さい)
- **対 象** 設置者・園長ならびに後継者、またはこれに準ずる者
- **定 員** 600名(定員になり次第締め切らせていただきます)

	12	13	14	15	16	17	18	19	20
27日(月)		受付	開会式 50	記念講演	30 45	行政報告 ① 30 45	行政報告 ② 30	休憩	懇親会 30

	8	9	10	11	12
28日(火)		分科会 受付 30	分科会	分科会	30 ※分科会終了後、自由解散

主催 / 全日本私立幼稚園連合会

協力 / (-財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構、(-社)茨城県私立幼稚園・認定こども園連合会

後援 / 文部科学省(申請中)、こども家庭庁(申請中)



【第1日】 / 10月27日（月）

〈水戸市民会館〉

12:00～13:00 受付

13:00～13:50 開会式

14:00～15:30 記念講演 「大切な忘れ物～昭和世代の独り言～」

【講師】 茨城県立大洗高等学校マーチングバンド部
『BLUE-HAWKS』監督

ありくに きよみつ
有國 浄光 氏

（略歴）

山口県出身 武蔵野音楽大学卒業 現茨城県立大洗高校常勤講師 72歳
昭和50年、大洗高校に着任と同時に吹奏楽部を創部、以来52年間にわたって大洗高校マーチングバンド部『BLUE-HAWKS』の指導育成にあたる。
平成21年、茨城県教育委員会より マイスター オブ チーチャーの称号授与。
平成30年、文部科学省より優秀教員（団体）表彰。
令和元年、文化庁より長官表彰。

15:45～16:30 行政報告① 「幼児教育の現状と課題」

【講師】 文部科学省 初等中等教育局 幼児教育課長（予定）

16:45～17:30 行政報告② 「保育政策ならびに行政の動向について」

【講師】 こども家庭庁 成育局 課長（予定）

（会場移動） ※本年度は大会会場と懇親会会場が異なっておりますのでご留意下さい。

〈水戸京成ホテル〉

19:00～20:30 懇親会

本大会の内容については、全日私幼連ホームページ (<https://zennichishiyouren.com>) からもご覧頂けます。

1. 教育 『創りだそう！こどもの未来を拓く良質な乳幼児期の教育を』

一層深刻さを増す現代の少子時代は、社会情勢に影を落とし、教育の現場においてもその影響は大きいです。このような時代の中でも、私たちは「人を育てる」という尊い営みを通し、目の前のこどもたちの生涯にわたる人格形成の基礎を培うという、重要な役割を担い質の高い幼児教育を目指しています。そのためには、社会全体が「こどもは愛おしく、社会にとってかけがえのない存在である」という思いを抱き、こどもを一人の「主体者」として尊重し、その権利を保障することが重要です。またその尊重のうえにこそ、良質な環境と教育が構築されると思っています。この度は誕生から成人期までの、連続した学びを保障していこうとする世界の教育動向も踏まえ、こどもが持つ「有能性」を存分に発揮できる『こどもがまんなか』ということ、様々な発達段階における、主体的な活動としての遊びを中心とした、保育実践を通して考える機会としたいと思います。基調講演を受けて、参加者の皆様とも『こどもがまんなか』について語り合う時間も設けております。皆様のご参加をお待ちしております。

基調講演 「世界は美しく面白い～子どもの有能性から保育をはじめよう～」		名誉教授 客員研究員 理事長	上垣内伸子 氏
【講師】	十文字学園女子大学 お茶の水女子大学人間発達教育科学研究所 NPO 法人練馬春日町幼児教室「はじめのいっぽ春日町」		
フロアディスカッション		名誉教授 客員研究員 理事長	上垣内伸子 氏
【登壇者】	十文字学園女子大学 お茶の水女子大学人間発達教育科学研究所 NPO 法人練馬春日町幼児教室「はじめのいっぽ春日町」		
	(一財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構	理事長	安家 周一 氏
	(一財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構	教育研究委員会 委員長	丸谷 雄輔 氏
	(一財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構	教育研究委員会 委員長	熊谷 知子 氏
【進行】	(一財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構	教育研究委員会 委員長	岡本 潤子 氏

2. 振興 『～幼児教育の質に対する振興を考える～ 質向上のプランへ『良い幼児教育の“質”とは？』質の評価スケールの策定は可能か？』

待機児童解消の量的拡充を目的とした国の『新子育て安心プラン』が終わり、新たなプランの策定に入りました。これからは「質の向上」を重点としたプランを掲げています。こども家庭庁の今年度の調査研究事業に「保育の質や保育所等の職員配置に係る指標の在り方」をテーマに挙げています。この新たな質に対する振興の試みは、全日私幼連が悲願として掲げてきた「幼児教育振興法」と重なる部分でもあります。幼児教育振興法は、質の高い幼児教育を振興していくことを目的としています。まず、質の向上を考える前に「良質な幼児教育」とは何か？「良い教育の定義」とは？はたして客観的、定量的に教育の質を評価できるのか？特に幼児教育は、義務教育以降の教育とはあらゆる点で異なるだけに、客観的に質を評価するには難しい側面があります。また私学の学校法人は、それぞれに建学の精神があることも難しいところです。なお認定こども園においては、福祉と教育を包含するため教育の線引きが難しいという課題があります。特に、0～2歳児の乳幼児における教育とはどのようなものを指すのか？

前半、国立教育政策研究所・幼児教育センターから示された「幼児教育の質評価スケール案」について、(一財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構副理事長の宮下友美恵先生と共に「幼児教育の質」について考えます。そのエビデンスに対し、教育財源・補助金をどのようにアプローチしていくべきか？これからの新しい振興策『質重視の振興』への展望を考えます。

後半は、教育の定義、評価の方式について説明。また現場で保育・教育の質の向上を掲げて実践しているパネラーの委員から報告していただきます。現場での報告等を通して、良質な幼児教育の質とは何か？これからの新たな振興活動の方向性を皆様と考えたいと思います。

第1部 対談「幼児教育の質とは？国立教育政策研究所の評価スケールとECEQ®比較にみる展望と課題」		副理事長 委員長	宮下友美恵 氏 石田 明義 氏
【講師】	(一財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 全日本私立幼稚園連合会 政策委員会		
第2部 報告及び説明「教育の定義」「私学における質重視の事例報告」「評価の方式」等について		委員 委員 委員長	※登壇者が決まり次第、全日私幼連のHPに更新します。 石田 明義 氏
【パネリスト】	全日本私立幼稚園連合会 政策委員会 全日本私立幼稚園連合会 政策委員会		
【コーディネーター】	全日本私立幼稚園連合会 政策委員会		

3. 経営 『あなたの園はその時どう動くか～安心・安全な保育のための管理者の備え～』

地震や豪雨などの自然災害、園外活動中の事故、不審者対応、SNS発信による炎上リスクなど、私たちの園経営を取り巻く環境は、年々複雑化・多様化しています。突然の事態が起きた時、果たして自園の職員はどのように動くのか、園長として何を判断し、どこに連絡し、保護者にはどう伝えるべきなのか。いざという時の判断力と、平時の備えが問われる時代です。

本分科会では、ジャーナリストとして多くの保育現場を取材され、現在は駒沢女子短期大学保育科教授・子ども安全計画研究所代表理事としてご活躍の猪熊弘子先生をお迎えし、実際の事例をもとに「危機管理とは何か」を設置者・園長の立場から深掘りします。また、民間の立場から保育施設の安全体制づくりを支援されている株式会社アイギスの代表取締役社長脇貴志氏には、災害やトラブルに備えるための「リスクマネジメント」や「コンプライアンス」の視点から、今必要とされる経営判断のポイントをお話しいたします。大切なのは、マニュアルに書かれた通りに動くことではなく、現実の中で判断し、実行できる力を身につけておくことです。この分科会では、日常からできる備えとともに、万が一の時に職員と子どもたちを守り抜くための視点と行動力を養います。園を取り巻くリスクは、誰のものにも等しく訪れます。その時、落ち着いて指揮をとれる園であるために。日常の忙しさの中では後回しになりがちな、非常時への備え。しかし、それは未来の子どもたちを守るための経営判断でもあります。参加された皆様にとって、自園を守り、職員を守り、子どもたちを守るための新たな視点と学びを得られる機会となることを願っています。

第一部 基調講演「子どもの命を守る私立幼稚園の役割～非常時に問われる日常の保育」		教授	猪熊 弘子 氏
【講師】	駒沢女子短期大学 保育科		
第二部 「事故後対応の重要性～先達はあらまほしきことなり」		代表取締役社長 委員長	脇 貴志 氏 佐々木慈舟 氏
【講師】	株式会社アイギス		
【コーディネーター】	全日本私立幼稚園連合会 経営研究委員会		

4. 認定こども園 『0.1.2歳児の保育・教育を考える～子どもたちの豊かな育ちとは～』

平成27年に「子ども・子育て支援新制度」が始まり、10年が経過。全日私幼連加盟園も半数以上が施設型給付や認定こども園に移行しました。2024年の出生数は前年比5.7%減の68万6061人と、統計開始以来初めて70万人を割り込みました。待機児童の減少に伴い、国の施策も、保育の量の拡大から「質の向上」に軸足を移し、こども家庭庁から「はじめの100か月の育ちビジョン」も示されました。認定こども園制度の諸課題も踏まえながら、子ども達の豊かな育ちについて0.1.2歳児の教育・保育を中心に考えていきたいと思います。

本講座では、まず保育SoWラボ代表・非営利団体コドモノミカタ代表理事の井桁容子先生より、基調講演を頂き、後半ではパネラーの先生から各地域での認定こども園の諸課題や、保育の質向上に向けた取り組みを報告頂き、保育・教育の質を考えていきたいと思います。

基調講演 「人生の始まりをしっかりと支え、人間らしさを豊かに育む保育」～誰もが幸せを感じて生きるために～		代表	井桁 容子 氏
【講師】	保育SoWラボ		
パネルディスカッション		副委員長 委員長 専門委員 委員長	井桁 容子 氏 鮎川 剛 氏 瀧本 智子 氏 湯目 崇史 氏 徳本 達之 氏
【パネリスト】	保育SoWラボ 全日本私立幼稚園連合会 全日本私立幼稚園連合会 全日本私立幼稚園連合会		
【コーディネーター】	全日本私立幼稚園連合会 認定こども園委員会 全日本私立幼稚園連合会 認定こども園委員会 全日本私立幼稚園連合会 認定こども園委員会		

参加申込み方法

■大会参加費 18,000 円

■懇親会費 10,000 円（申込み制、27 日開催） 定員 300 名

- 参加を希望される方は、ゆたかなまナビよりお申込み下さい。ゆたかなまナビに教職員登録をされていない方は、本研修大会のお申込みができませんのでご留意下さい。お申込みの詳細につきましては、全日本私立幼稚園連合会ホームページ (<https://zennichishiyouren.com>) からご確認下さい。
- お申込みの締切は **10月8日(水)** とさせていただきます。
- 申込み手続き後の参加者の都合による、大会及び懇親会の申込みをキャンセルされた場合、参加費及び懇親会費の返金はいたしません（代理参加可）。
- お申込みいただいた方には、10月中旬までに大会参加券等を郵送にてご案内いたします。
- 宿泊のご案内は「宿泊プランのご案内」をお目通しいただき、直接 JTB 宿泊サイトからお申込み下さい。申込みは先着順となっており、定員になり次第締め切りとなります。
- 宿泊の取り消しに伴う返金につきましては、JTB の規約に基づきます。
- 本年度は大会会場と懇親会会場が異なりますのでご留意下さい。

■個人情報の取り扱いについて

申込み時の登録情報は、本研修会の参加者名簿や参加受付証等発送など、本研修会の運営・管理の目的に限り使用します。また、研修会の当日大会資料（名簿）に「氏名」「都道府県名」「園名」を掲載します。なお、本研修会に関する業務を株式会社 JTB ビジネスソリューション事業部第六事業部と株式会社マツヤマクリエーションに委託し実施するため、上記の目的の範囲に加え、宿泊手配等のサービス提供を目的として情報を共有します。

★参加の方法、研修内容はこちら

Tel. 03 - 3237 - 1080
Fax. 03 - 3263 - 7038
Mail : info@youchien.com

全日本私立幼稚園連合会

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25
私学会館別館 4 階（担当：佐藤、伊豆島）

★宿泊のお申込みは下記 URL

または QR コードから

<https://n-tabeat.jtb.co.jp/tabeat/List.aspx?TourNo=355c453566e94299bd4b010c>



株式会社 JTB

『第 40 回設置者・園長全国研修大会』係

〒100-6051 東京都千代田区霞が関 3-2-5
霞が関ビルディング 23 階
Tel. 03 - 6737 - 9303（担当：松崎、池田）